

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

安城市	所属議員	辻山秀文・守口晶治・稲垣退三
------------	------	----------------


産業目線

目線区分	産業目線	
取り組み項目	②企業誘致	
テーマ	地域ものづくり産業の活性化	
<p>前回まで</p> <p>取り組み状況</p>	<p>新たな土地利用構想の見直しについて</p> <p>安城市第8次総合計画 後期計画(案)には、新たな発展に向けた工業用地の計画的誘導として、恵まれた地理的条件や交通体系を活用し、都市の活力を生み出す工業用地の確保を進める為、北部地域の新たな産業立地の内容について提案と確認を実施。</p>	
<p>今回</p> <p>組織内議員の 具体的取り組み</p>	<p>《議案質疑で質問》</p> <p>企業誘致政策は、地域振興のための産業政策の中の重点的な政策として多くの自治体が入力して展開しています。なぜなら、企業誘致は、地域における雇用の場の創出、所得機会の創出、地域経済の活性化、地方財政の強化等に直接的、即効的に貢献できる政策として重要とされている。北部地域の新たな工業用地確保に向け、どれぐらいの規模の工業用地を考えて進めていくのか現段階での考えを確認した。</p> <p>【回答】</p> <p>現時点での本市に対する工業用地のニーズとしては、12月時点で榎前地区工業団地分譲後も工業コーディネーターへの相談や商工課窓口において、約40社、合計23ha程度の要望があることを把握している。なお、企業立地推進計画を策定するにあたり、既に本市が把握しています要望に加え、改めて市内の製造業に対し、工業用地を必要とする時期や区域、面積などについてアンケート調査を予定している。このアンケート結果を基に、新たな総合計画との整合を図りながら、工業用地の規模について決定したいと考えている。</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p>令和2年度安城市当初予算 会派要望に対する回答受取</p> <p>会派要望：安城市版新産業ビジョンの策定</p> <p>第4次産業革命、自動車産業の100年に1度の大変革期により産業構造、就業構造など地域産業のサプライチェーンが抜本的に変わる状況となっている。ヒト・モノ・カネ・技術・情報・制度等、新たな経済社会経済システムをいち早く構築していく産業ビジョンを早期に策定すること。</p> <p>企業立地推進計画策定業務委託料 (5,000千円)</p> <p>本市に誘致すべき業種の選定と今後必要となる工業用地の位置・面積を検討し、計画を策定する。</p>
今後の取り組み	工業コーディネーターや商工課相談窓口へ相談、問い合わせがあった約40社の業種の確認と、工業用地の規模について市と協議していく。また、アンケート時期及び今後の工業用地計画についても市に確認していく。	

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

安城市	所属議員	辻山秀文・守口晶治・稲垣退三
------------	------	----------------

組合員目線

目線区分	組合員目線	
取り組み項目	① 子育て・教育	
テーマ	待機児童ゼロに向けた取り組み	
前回まで 取り組み状況	<p>市が抱える幼児教育・保育の行政課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 低年齢児保育ニーズ増大への対応 ② 公立幼稚園ニーズ減少への対応 ③ 人口変動（地域特性・年少人口の減少）への対応 	
今回 組織内議員の 具体的取り組み	<p><u>今回の組織内議員の具体的取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保育業務支援システムを公立保育園、幼稚園及び認定こども園に導入し、スマートホン等による欠席連絡を可能にするなど市民サービスの向上を図るとともに、保育士の業務負担軽減を図り、よりよい保育環境整備を一般質問で提案。 ⇒令和2年度の予算額6,215万円を確保することが出来、公立保育園、幼稚園及び認定こども園へのシステムの導入が決定した。 ② 保護者ニーズの充足および保育の質を高めるため、民間保育園の新設促進、低年齢児の受入れ拡大・延長保育への対応、待機児童ゼロ実現に向けて、多様なニーズへの対応を会派要望として提出。 ⇒民間保育園等の保育環境の充実を図るため、運営や施設の改修。設備の拡充を支援。（委託料、運営補助金 17億 1388万円）対象：保育園 11園、幼保連携型認定こども園 5園 新設園誘致：桜井中学校区、東山中学校区 2か所を予定 	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>二本木保育園での導入に向けての検証</p> <p>令和2年度安城市当初予算 会派要望に対する回答受取 令和2年度予算金額 保育園事業：24億 115万円 民間保育所等支援事業：21億 9,277万円</p>
今後の取り組み	待機児童の状況を保育課を通じて情報把握を行っていく。特に、これまでは9月に待機児童が発生した経緯があり、必要に応じて委員会、一般質問等で確認する。	